

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第118期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	澤藤電機株式会社
【英訳名】	SAWAFUJI ELECTRIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上田 英樹
【本店の所在の場所】	群馬県太田市新田早川町3番地
【電話番号】	0276（56）7111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 久野 陽二
【最寄りの連絡場所】	群馬県太田市新田早川町3番地
【電話番号】	0276（56）7111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 久野 陽二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第117期 第2四半期 連結累計期間	第118期 第2四半期 連結累計期間	第117期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	14,836	12,957	29,179
経常利益又は経常損失() (百万円)	115	86	684
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (百万円)	162	59	1,468
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	338	160	1,939
純資産額(百万円)	5,317	7,722	7,691
総資産額(百万円)	16,932	18,768	18,871
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	7.53	2.74	68.05
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.7	39.9	39.6
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	144	1,519	275
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	163	412	825
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	66	897	354
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)	1,783	837	1,794

回次	第117期 第2四半期 連結会計期間	第118期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.73	0.47

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第117期及び第117期第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため、第118期第2四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載をしておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

平成25年4月1日から平成25年9月30日までの当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、129億57百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業損失は81百万円（前年同四半期は営業利益1億31百万円）、経常損失は86百万円（前年同四半期は経常利益1億15百万円）、四半期純損失は59百万円（前年同四半期は四半期純利益1億62百万円）となりました。

セグメントごとの売上高、セグメント利益は次のとおりであります。

電装品事業につきましては、国内およびアジア向けは堅調でしたが、中国建機市場の低迷により、電装品事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は59億4百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益は4億71百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

発電機事業につきましては、国内および米国向けの在庫調整、さらに自社ブランド発電機「E L E M A X」についても海外販売先の在庫調整により、発電機事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は38億3百万円（前年同四半期比32.8%減）、セグメント損失は2億77百万円（前年同四半期はセグメント利益15百万円）となりました。

冷蔵庫事業につきましては、オーストラリアの販売増により、冷蔵庫事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は30億46百万円（前年同四半期比16%増）、セグメント利益は3億9百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

情報処理関連事業、運送事業、他を含むその他の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億4百万円（前年同四半期比19.6%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比86.9%減）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、8億37百万円（前年同四半期比9億46百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは 15億19百万円（前年同四半期比16億63百万円減）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純損失87百万円の計上と、たな卸資産の増加13億4百万円及び仕入債務の減少7億88百万円が生じ、その一方で減価償却費2億91百万円の計上と売上債権の減少7億80百万円が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは 4億12百万円（前年同四半期比2億49百万円減）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得4億5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは8億97百万円（前年同四半期比9億63百万円増）となりました。

これは、主に短期借入金の増加10億28百万円と配当金の支払1億29百万円によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は5億13百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	21,610,000	21,610,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	21,610,000	21,610,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	21,610,000	-	1,080	-	117

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日野自動車株式会社	東京都日野市日野台3-1-1	6,535	30.24
株式会社デンソー	愛知県刈谷市昭和町1-1	2,000	9.25
本田技研工業株式会社	東京都港区南青山2-1-1	1,300	6.01
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	600	2.77
澤藤電機従業員持株会	群馬県太田市新田早川町3	533	2.46
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	500	2.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	400	1.85
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	300	1.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	210	0.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	204	0.94
計	-	12,582	58.22

(注)当第2四半期会計期間末現在における三井住友信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 28,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,501,000	21,501	-
単元未満株式	普通株式 81,000	-	-
発行済株式総数	21,610,000	-	-
総株主の議決権	-	21,501	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
澤藤電機株式会社	群馬県太田市新田早川町3	28,000	-	28,000	0.13
計	-	28,000	-	28,000	0.13

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794	837
受取手形及び売掛金	¹ 5,167	¹ 4,398
商品及び製品	2,047	2,853
仕掛品	1,570	1,791
原材料及び貯蔵品	179	440
繰延税金資産	326	379
その他	228	257
貸倒引当金	12	10
流動資産合計	11,302	10,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	932	899
機械装置及び運搬具(純額)	649	1,130
土地	1,014	1,011
建設仮勘定	561	111
その他(純額)	235	273
有形固定資産合計	3,392	3,426
無形固定資産	226	205
投資その他の資産		
投資有価証券	3,865	4,104
繰延税金資産	29	30
その他	54	54
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	3,950	4,188
固定資産合計	7,569	7,821
資産合計	18,871	18,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 5,542	¹ 4,761
短期借入金	1,102	2,126
未払法人税等	179	22
製品保証引当金	103	104
賞与引当金	437	445
役員賞与引当金	21	-
その他	¹ 1,003	¹ 732
流動負債合計	8,391	8,193
固定負債		
長期借入金	5	4
退職給付引当金	2,249	2,212
役員退職慰労引当金	91	92
資産除去債務	125	126
繰延税金負債	316	417
固定負債合計	2,789	2,853
負債合計	11,180	11,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	117	117
利益剰余金	3,972	3,783
自己株式	7	7
株主資本合計	5,163	4,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,227	2,381
為替換算調整勘定	73	123
その他の包括利益累計額合計	2,300	2,505
少数株主持分	228	242
純資産合計	7,691	7,722
負債純資産合計	18,871	18,768

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,836	12,957
売上原価	13,570	11,837
売上総利益	1,265	1,120
販売費及び一般管理費	¹ 1,133	¹ 1,201
営業利益又は営業損失()	131	81
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	44
固定資産賃貸料	26	26
その他	8	13
営業外収益合計	73	84
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	78	80
固定資産賃貸費用	5	5
その他	3	0
営業外費用合計	89	90
経常利益又は経常損失()	115	86
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産売却損	-	0
有形固定資産処分損	4	0
投資有価証券評価損	8	-
その他	0	-
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	102	87
法人税等	56	20
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	159	66
少数株主損失()	3	7
四半期純利益又は四半期純損失()	162	59

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	159	66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	508	154
為替換算調整勘定	10	72
その他の包括利益合計	497	227
四半期包括利益	338	160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338	145
少数株主に係る四半期包括利益	0	14

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	102	87
減価償却費	235	291
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	1
製品保証引当金の増減額(は減少)	1	1
賞与引当金の増減額(は減少)	33	7
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	21
退職給付引当金の増減額(は減少)	12	37
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12	1
受取利息及び受取配当金	39	45
支払利息	2	3
為替差損益(は益)	0	2
投資有価証券評価損益(は益)	8	-
有形固定資産売却損益(は益)	0	0
有形固定資産処分損益(は益)	4	0
売上債権の増減額(は増加)	59	780
たな卸資産の増減額(は増加)	439	1,304
仕入債務の増減額(は減少)	192	788
未払又は未収消費税等の増減額	6	35
その他	136	150
小計	125	1,388
利息及び配当金の受取額	39	45
利息の支払額	2	3
法人税等の支払額	18	171
営業活動によるキャッシュ・フロー	144	1,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	159	405
有形固定資産の売却による収入	0	2
貸付けによる支出	6	5
貸付金の回収による収入	7	9
その他	4	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	163	412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	1,028
長期借入金の返済による支出	1	1
配当金の支払額	64	129
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	66	897
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	76
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	79	957
現金及び現金同等物の期首残高	1,863	1,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,783	¹ 837

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	6百万円	-
支払手形	49百万円	-
設備関係支払手形	164百万円	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	318百万円	335百万円
荷造運搬費	171	171
退職給付費用	28	23
役員退職慰労引当金繰入額	12	13
賞与引当金繰入額	73	87
製品保証引当金繰入額	15	30

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,783百万円	837百万円
現金及び現金同等物	1,783	837

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	64百万円	3円	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	129百万円	6円	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電装品	発電機	冷蔵庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,297	5,659	2,625	14,582	253	14,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	55	55
計	6,297	5,659	2,625	14,582	309	14,892
セグメント利益	408	15	254	678	10	688

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理関連事業及び運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	678
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	556
四半期連結損益計算書の営業利益	131

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電装品	発電機	冷蔵庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,904	3,803	3,046	12,753	204	12,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	38	38
計	5,904	3,803	3,046	12,753	242	12,996
セグメント利益又は損失 ()	471	277	309	502	1	504

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理関連事業及び運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 （差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	502
「その他」の区分の利益	1
セグメント間取引消去	0
全社費用（注）	585
四半期連結損益計算書の営業損失（ ）	81

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

その他有価証券で時価のあるもので、その時価の変動が、事業の運営において重要なものではありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	7円53銭	2円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(百万円)	162	59
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(百万円)	162	59
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,582	21,581

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

澤藤電機株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 達也 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 佳之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている澤藤電機株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、澤藤電機株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。